

平成31年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (小学校)

教科ごとの「教科の観点」における平均正答率の比較

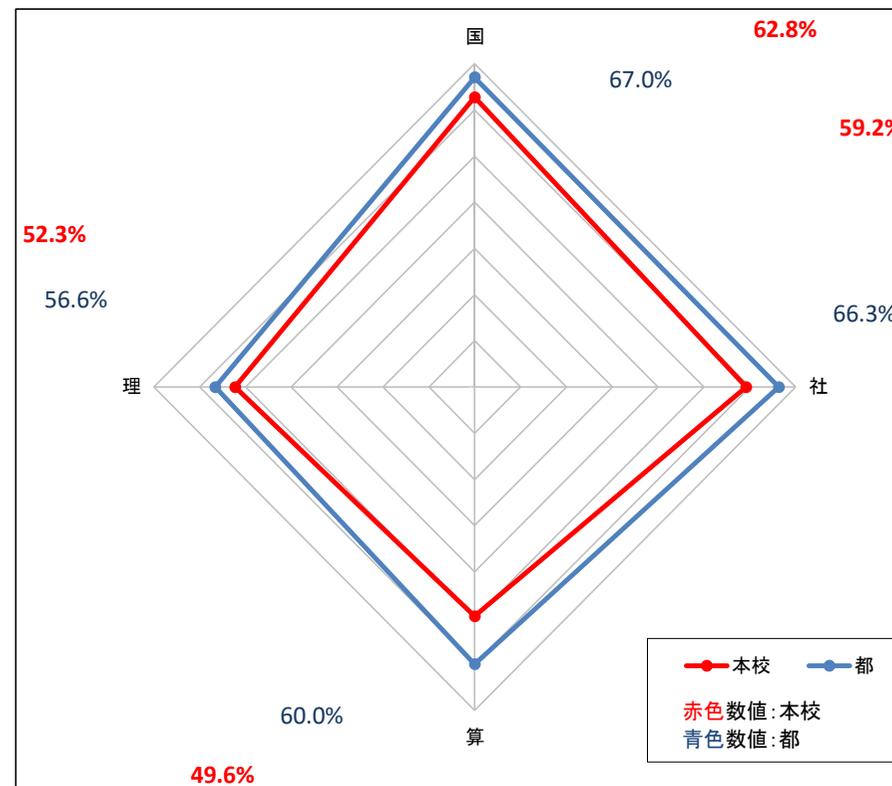
臨海小学校

国語	教科の観点				教科の合計
	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
東京都	65.9%	70.9%	67.1%	65.9%	67.0%
本校	67.4%	64.9%	62.5%	56.2%	62.8%
都との差	1.5	-6.0	-4.6	-9.7	-4.3

社会	教科の観点			教科の合計
	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 of 技能	社会的な事象についての知識・理解	
東京都	63.1%	66.5%	69.8%	66.3%
本校	57.1%	62.2%	58.3%	59.2%
都との差	-6.0	-4.3	-11.5	-7.1

算数	教科の観点			教科の合計
	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	
東京都	46.4%	65.2%	67.8%	60.0%
本校	37.9%	52.3%	58.7%	49.6%
都との差	-8.5	-12.9	-9.1	-10.4

理科	教科の観点			教科の合計
	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	
東京都	52.9%	66.4%	55.0%	56.6%
本校	48.8%	60.9%	47.3%	52.3%
都との差	-4.1	-5.5	-7.7	-4.3



《都との比較にみる本校の状況》

- ・国語は全体的に都の平均よりも、やや下回っており、特に、「言語についての知識・理解・技能」が平均よりも大きく下回っている。
- ・国語の「話す・聞く能力」のみ、都の平均よりも上回っている。
- ・社会は全体的に都の平均よりも、やや下回っており、特に「社会的な事象についての知識・理解」が平均よりも大きく下回っている。
- ・算数は全体的に都の平均よりも大きく下回っており、特に「数量や図形についての技能」が平均よりも大きく下回っている。
- ・理科は全体的に都の平均よりも、やや下回っている。

《授業改善のポイント》

- ・国語については、朝読書を定期的に行っているが、読書をさらに重視していく。他教科、読書科とも関連づけながら、物語、説明文、新聞、コラム等、様々な文章を読む機会を多く設ける。また、漢字テストや文法のテストを定期的に行うことで、言語についての知識を広めていく。
- ・算数については小数・分数などの計算練習を繰り返したり、東京ベーシックドリルを活用したりして、基礎基本の定着の徹底を目指す。また、図形の作図や数量関係の学習プリントを定期的に行い、学習内容の定着を図る。
- ・社会については、社会の学習において47都道府県の名前を覚え、言語についての知識を増やしていく。
- ・理科については、理科の学習において実験の方法や結果を覚え、言語についての知識を増やしていく。
- ・全授業を通して、ペアやグループ等での話し合い活動を行い、全体で発表するなど様々な教科において言語活動を充実させる。また、振り返りの活動を増やし、学習内容の定着率を上げていく。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・ラインズeライブラリアドバンス「家庭学習サービス」を実施し、ドリルの学習を継続させることで家庭学習の習慣化を図る。
- ・個人面談の機会に個々の児童の躰きを保護者に伝え、家庭との連携を図る。